

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援さくらんぼ開成		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門支援員がそれぞれの分野で情報共有と助言を行い、支援の充実を図っている	定期的に分野別会議を行い、情報や助言を得ることでより良い支援を行えている 複数の評価により、多角的に支援が可能	専門支援を開始したことで、より具体的に会議を行うことが必要になってきている
2	外部の施設や行事ごとへ参加をしている	教室内でできることも構造化、役割分担を行っており、屋外での活動では社会的なルールやマナーのスキルを習得でき、児童の成功体験を積むことができる	情報収集と挑戦を安全が確保できる範囲で行っていく
3	児童の意見を取り入れた活動の提供	月に1回程度、児童自身で少人数グループを作って企画・活動をする機会を作っている。自身の企画・実践力の向上、興味の拡大を図ることができる	意見を取り入れて児童主体で活動構成ができるようになってきたため、より主体性を持ち職員が意見を出さない事を目標にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等への参加が固定化している	避難訓練は年2回実施しているが、安全面の関係上、日曜日に実施していることが多い。そのため、固定曜日によっては参加できていない児童が多数いる。	防災センターの活用
2	情報発信	Instagramを中心にSNS発信を行っているが、業務として行っているため時間が限られてしまっている	SNS編集や事務作業ICTの活用
3			